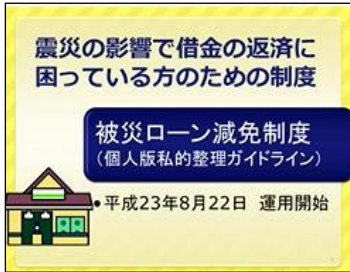


復興ニュース

被災ローン減免制度

震災の影響で借金で困っている方



震災で多くの方が家や自動車などを流し、借金だけが残った方がおられます。借金に困っている被災者の生活再建として、「個人債務者の私的整理に関するガイドライン」(被災ローンの減免制度)という制度が、平成 23 年 8 月 22 日から運用開始になりました。

しかし、これまでこの制度の利用者が少なかったが、制度が知られるに従い申請者が少しずつ増えているそうです。震災前の借金で

困っている方、ぜひご利用してほしいと呼びかけています。

最初に電話で相談を

「個人債務者の私的整理に関するガイドライン」による債務整理を検討される方は、まずはコールセンター、または岩手支部へご相談ください。
コールセンター 0120-380-883 岩手支部 019-606-3622

◆この制度は

震災の影響により、返済が困難となられた方について、国の方針を受けて、一定の要件を満たす場合、銀行などの金融機関が債務の免除に応じることを定めたルールなのです。

手元に 500 万円と支援金等を残し、それを上回る借金を免除される制度です。

◆手続きは

ガイドライン運営委員会より、この制度の手続きを支援する弁護士を紹介し、弁護士費用は国から補助が出ますので、相談者の負担はありません。

必要書類の準備などは、弁護士が全力で支援いたしますので、ご安心ください。

◆対象となるのは、主に以下の要件を満たす方です。

- 1、個人や個人事業主である方(法人は対象外)
- 2、震災前は、住宅ローンなどの借入をきちんと返済されている方
- 3、震災の影響により返済が困難となられた方

◆今後の住宅再建に備えよう

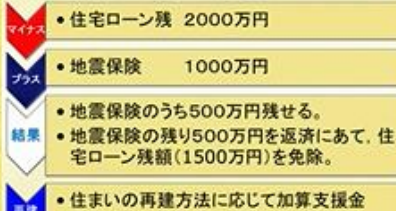
仮設住宅を出た後、新たに住まいを借りるなら賃料が、家を建てるなら新しいローンの返済費用や頭金が必要になります。将来、支払いに困らないために、仮設にいる今、借金を整理してローンの返済を止め、預貯金を蓄えておく必要があります。

また、銀行はローンを組むとき、その人が、他にいくら借金しているか、返済が滞っていないか、審査します。将来、審査に通ってローンを組むためには、借金を整理しておく必要があります。

ローンを抱えている方、ぜひご相談ください。



事例 1 (借りた土地)



三鉄盛駅ふれあい待合室一周年イベント報告

三鉄盛駅ふれあい待合室は、岩手県をはじめ多くの皆様のご協力により開業から1年が経過しました。この間2万人の来場者を迎え、被災地の交流拠点としての役割を果たすことが出来ました。

当日のイベントには、いわて生協、コープあいち、みちのくふる里ネットワーク、CCMN、北上市ボランティア連絡会、共生地域創造財団、個人のボランティアさんのご協力を頂きました。個人として協力を頂きました若いお二人を紹介します。



イベントのスタッフ



◆ 司会の大役を務める 大船渡中学校3年生の橋本 陸君

「中学校では選挙管理委員長としての司会はしましたが、こんなに大きなイベントの司会、特に来賓の紹介など大変でした」と振り返っての感想でした。

橋本君は大の三鉄ファンで、休みの日には盛駅ふれあい待合室に来て、遠方からの来場者へ、三鉄の被災状況や今後の運行予定などを説明しています。また、先に行われた「詩のボクシング大会」では優勝し、10月27日に横浜で開かれる全国大会へ出場することになっています。



◆ カラオケの進行 東京の糸島 葵さん（日本女子大4年生）

糸島さんは、大船渡市都市整備部公園課の職員のお世話で、仮設入居の小学生から、被災前と後の遊びの違い等のアンケート調査を行うために、夜行バスで5日早朝到着しました。その朝お世話になったふれあい待合室のイベントを協力しようとの申し出により、カラオケ大会の進行係を、北上市ボランティア連絡会の皆さんと手伝って頂きました。

感想として、「皆さんカラオケが好きだなあ〜、時間があればもっと歌って欲しかった」。就職は「造園会社」に決まっているそうです。

今年もボランティアへ 11月3日・4日

大阪元気人間製造研究所 みなさん来てや!

大阪の一般社団法人・元気人間製造研究所（森重子理事長）は、昨年に続き、今年も11月3日・4日の両日、貸切バスでボランティアに来ます。3日は大船渡市末崎地区公民館、4日は陸前高田市高田町大隅つどいの丘商店街で、色々楽しい行事を行います。特に今年は地元の人たちと一緒に行いたいとの要望もあり、お子さんから大人まで多くの皆様のご参加をご案内します。

11月3日（土）14:00~18:30
末崎地区公民館（ふるさとセンター）

11月4日（日）11:00~14:00
高田大隅つどいの丘商店街・広場

- ①ファッションショー 女性10名募集
- ②ヘアメイクショー 男性3名募集
- ③七五三・家族の着付け・写真撮影 募集

※つどいの丘商店街では、気仙の障がい者6団体施設の販売もあります

11月3日 末崎地区公民館		11月4日 高田大隅つどいの丘商店街	
地元の方々のご協力により諸準備		つどいの丘商店街のご協力を得て諸準備	
14:00~	七五三・家族写真撮影	11:00~	七五三・家族写真撮影
16:00~	ファッションショー		ファッションショー
16:30~	皆で楽しい交流 焼そば・おでん・する身汁等 踊り	11:30~	皆で楽しい交流 焼そば・おでん・焼き鳥等 踊り
		12:30~	氷上太鼓
18:30	修了	14:00	修了

◆問合せ・申込先(七五三着付け・撮影等)：NPO 法人夢ネット大船渡 TEL (0192) 47-3271

大船渡市「いのち・くらい復興塾」

他人任せはもう卒業、復興を考える<ひとづくり塾>を開きます。

地元の専門家集団によるやさしい講義です。

▲テーマは、住宅、雇用、医療、福祉、農水産業、行財政、コミュニティなど、

▲対象者は、大船渡市に居住の方、通勤の方、震災時に居住の方

▲定員 30人 事前登録制 11月・12月からの参加申込み可

▲開催日時：11月10日(土) 14:00~17:00 シーパル大船渡

12月8日(土) 14:00~17:00 シーパル大船渡

主催：NPO法人岩手地域総合研究所「いのち・暮らし復興塾」運営委員会

申込先・問合せ先：電話・fax 019-624-6715 (小松・金野)



無料法律相談の案内

昨年10月から、NPO法人ヒューマンライツ・ナウ(東京)が月2回平均弁護士を派遣して頂き、これまで173件の相談をして頂きました。

10月13日・14日は二人の弁護士でしたので、一人の弁護士には仮設住宅へ出

向いて(小中井仮設・黒土田仮設)、入居者との懇談を行いました。

また、13日はハピタットのお世話で、末崎地区公民館で「二重ローン」等の相談に、13人お出で頂き、個別相談は7人、この復興ニュース表紙に記載しました「被災ローンの減免制度」を説明したそうです。弁護士からも今後この相談が多くなるのではと話されました。

相談希望者は、ふれあい待合室へ連絡ください。

11月の無料法律相談日

11月10日 14:00~16:00

11日 10:00~12:00

11月24日 14:00~16:00

25日 10:00~12:00

①1 相談約40分間

②事前申し込み必要です

申し込み先：ふれあい待合室

Tel (0192) 47-3542

被災地 NPO なんでも無料相談会

NPOに関する経理事務や総務全般のお困りごとに、代表権喪失、定款改正などNPO法改正に伴う対応方法やNPOの設立、運営、管理、経理などの個別相談を行います。

NPO法人シニアパワーいわてのスタッフがお答えします。

大船渡会場 11月20日(火) 13:30~17:00 大船渡地域振興センター

11月21日(水) 9:00~12:00 大船渡地域振興センター

陸前高田会場 11月28日(水) 13:30~17:00 陸前高田まちづくり協働センター

11月29日(木) 09:00~12:00 陸前高田まちづくり協働センター

◆申込用紙がありますが、①団体名、②住所、③連絡先(電話・fax)、④参加者名

⑤11月20日(午後)・21日(午前)のどちらかに〇印、⑥相談したい内容を簡単に記載し、FAXで送信下さい。送信先：019-626-0098(シニアパワーいわて 担当：中村あて)

三陸鉄道盛駅ふれあい待合室の11月行事

◆お茶会 高齢者がつくる米粉を使った「だんご」や手づくり煮物

11月15日(木) 10:00~12:00 三鉄車両内 無料

◆ウォーキング 赤崎町方面へ往復5km。参加費無料、弁当注文者450円

11月21日(水) 9時40分集合 申込締切：11月19日

◆歌声列車 三鉄車両内で楽しく歌いましょう

11月28日(水) 12:00~15:00 美味しい弁当付き 参加費1,000円

申込締切：11月26日

「ご近所支え合い活動助成金」など各種助成金説明会

今、高齢者の皆様の様々な地域活動に期待が持たれています。また、自分で何かをやってみたいと考えている高齢者が多くなっておりまます。そこで、県内の活動事例、成功事例を紹介し、高齢者の活動のきっかけづくりを図りたいと考えております。下記のとおり交流会・説明会を行います。

大船渡会場 11月15日(木) 13:30~15:30 大船渡地区合同庁舎 4F第3会議室
13:30~14:10 ご近所支え合い活動助成金及び県内外の助成金情報について
14:10~14:50 情報交換会 県内の活動事例の紹介、参加団体相互の交流
15:00~15:30 個別相談(希望の方のみ)

申込は fax で、①参加者お名前、②団体名、③住所、④電話、⑤相談事項がありましたら記入
送信先: 019-606-1765 (岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター)

がん哲学外来創始者の講演会ご案内

病気にどう向き合って生きてらよいか?

「がん哲学外来」とは耳慣れない言葉ですが、がん患者とその家族に安心を与える医療者との対話の場所です。

「がんであっても笑顔を取り戻し、人生を生きることが出来るように支援したい」と願う、病理・腫瘍学の第一人者である順天堂大学教授の樋野與夫先生によって、がん哲学外来は創



設されました。

現在、樋野先生を中心として東京・千葉・山梨・長野・福島・神奈川・群馬・福井・岡山等、各地で「がん哲学外来」が広められ、大きな反響が起っています。各地とも毎月1回3~4名の方との面談を無料で実施しています。

主催: 3.11 いわて協会ネットワーク お問い合わせ: 090-1354-5694 (大塩)

◆日時: 平成24年11月23日(金)

14:00~15:30

◆場所: シーパル大船渡 大船渡市盛町日本桮8-6
お早めにお出で下さい。質問時間も若干設けております。

五葉山フォーラム 五葉山に学ぶ ~共に生きるかたち~

人をくつろがせ、明るくさせ、喜びや悲しみを包み込んでくれる自然は、一人ひとりが持っているあるべき人間像、社会像を想像させる「内なるちから」、共に歩みたいと思う「共生のこころ」を呼び覚ましてくれる。

「五葉山」を介し、自然と人間の共生、人間と人間の共生のかたちを考える。

≪講演≫ 2012年12月2日(日) 午後1時00分~午後5時00分

「共に生きるかたち」~災厄と経験~ 東北学院大学 副学長 佐々木俊三先生
「自然との共生」~響き合う感性~ 岩手大学農学部教授 岡田秀二先生
「草木塔の意義」~東日本大震災を生きる~ 山形大学 准教授 村松 真先生
全体の意見交換

≪会場≫ 住田町世田米 松島屋 (0192-46-3052)

※交流会もあります。午後5時~6時30分、会費2,000円

主催・問合せ: 五葉山自然倶楽部、事務局千葉修悦、TEL・fax0192-48-2196

後援: 住田町・大船渡市・陸前高田市・釜石市・岩手県・三陸中部森林管理署他

復興ニュース掲載へ 11月20日以降のイベント情報をお知らせください

この復興ニュースは、日本NPOセンターからの助成を受けて、今年1月から発行してききましたが、10月で助成期間が終了します。11月から新しい助成先を申請していますが、現在のところ未定です。新しい助成先が決まらない際は、11月10日付発行にて当分お休みいたしますのでご了承願います。11月5日までに11月20日以降のイベント等の情報をFAX等でお知らせください。